

# 弘前商工会議所企業景況調査結果【令和7年10～12期】

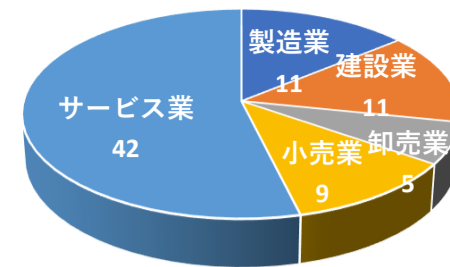
1 調査対象・・・ 弘前商工会議所会員企業

2 調査対象期間・・・ 令和7年10月～12月期

3 調査方法及び回答方法・・・ 当所1月会報に折込発送、FAX並びに回答フォームにて回答

4 回答企業の内訳・・・

業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
回答数(件)	11	11	5	9	42	78
構成比	14%	14%	6%	12%	54%	100%



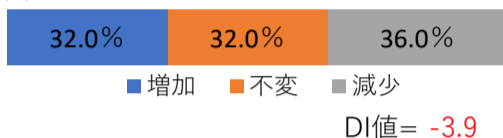
5 業況について・・・

※DI値(景況判断指数)について  $DI = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を表します。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がりを含みます。

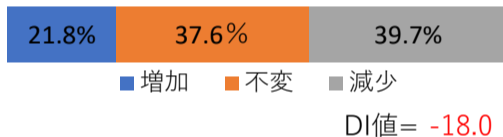
## ○「売上額」について

・10月～12月の「売上額」実績は、昨年同期と比較して  
<全業種>

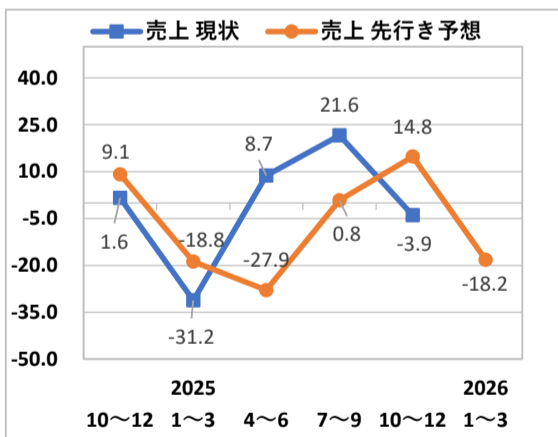


業種	増加	不変	減少	DI値
製造業	36.4%	18.2%	45.5%	-9.1
建設業	9.1%	27.3%	63.6%	-54.5
卸売業	20.0%	40.0%	40.0%	-20.0
小売業	44.4%	22.2%	33.3%	11.1
サービス業	35.7%	38.1%	26.2%	9.5

・1月～3月の「売上額」予想は、昨年同期と比較して  
<全業種>



業種	増加	不変	減少	DI値
製造業	18.2%	45.5%	36.4%	-18.2
建設業	9.1%	45.5%	45.5%	-36.4
卸売業	0.0%	80.0%	20.0%	-20.0
小売業	44.4%	22.2%	33.3%	11.1
サービス業	23.8%	33.3%	42.9%	-19.0



◇DI(前年同期比)が前回調査(7～9月期:21.6)より25.5ポイント減少して▲3.9となりました。

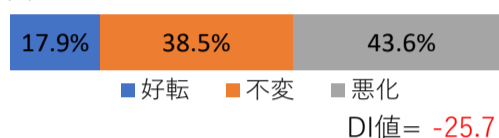
◇先行き(1～3月期)の予想については、前回調査(10～12月期:14.8)より33ポイント減少して▲18.2ポイントとなりました。

### ○今期・来期ともに大きく減少

売上額について、今期・来期ともに大きく減少しました。特に今期の建設業では約6割が「減少」と回答しました。要因としては、大雪の影響が考えられます。

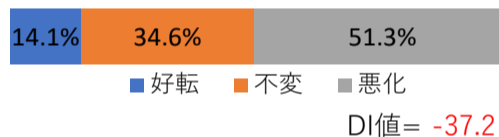
## ○「採算(純利益)」について

・10月～12月の「採算」実績は、昨年同期と比較して  
<全業種>

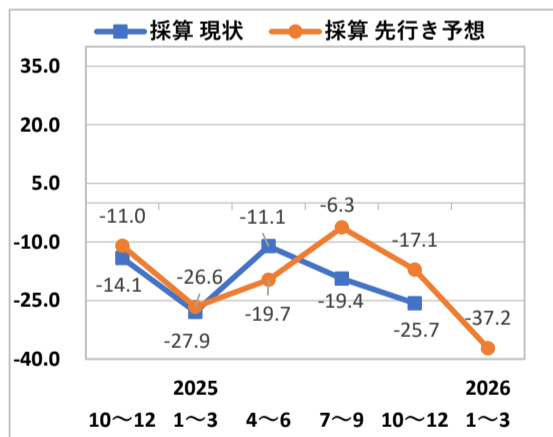


業種	好転	不変	悪化	DI値
製造業	27.3%	27.3%	45.5%	-18.2
建設業	0.0%	45.5%	54.5%	-54.5
卸売業	0.0%	40.0%	60.0%	-60.0
小売業	44.4%	22.2%	33.3%	11.1
サービス業	16.7%	42.9%	40.5%	-23.8

・1月～3月の「採算」予想は、昨年同期と比較して  
<全業種>



業種	好転	不変	悪化	DI値
製造業	18.2%	36.4%	45.5%	-27.3
建設業	0.0%	45.5%	54.5%	-54.5
卸売業	0.0%	60.0%	40.0%	-40.0
小売業	44.4%	22.2%	33.3%	11.1
サービス業	11.9%	31.0%	57.1%	-45.2



◇DI(前年同期比)が前回調査(7～9月期:▲19.4)より6.3ポイントマイナス幅が拡大して▲25.7となりました。

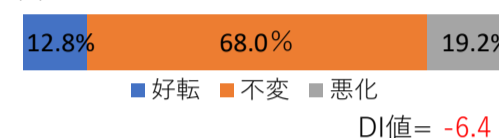
◇先行き(1～3月期)の予想については、前回調査(10～12月期:▲17.1)より20.1ポイントマイナス幅が拡大して▲37.2となりました。

### ○今期・来期ともに大きく減少

採算(純利益)について、今期・来期ともに大きく減少しました。要因としては、大雪や最低賃金改定、物価高の影響による利益の圧迫が考えられます。

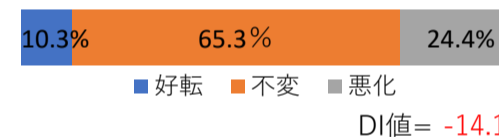
## ○「資金繰り」について

・10月～12月の「資金繰り」実績は、昨年同期と比較して  
<全業種>

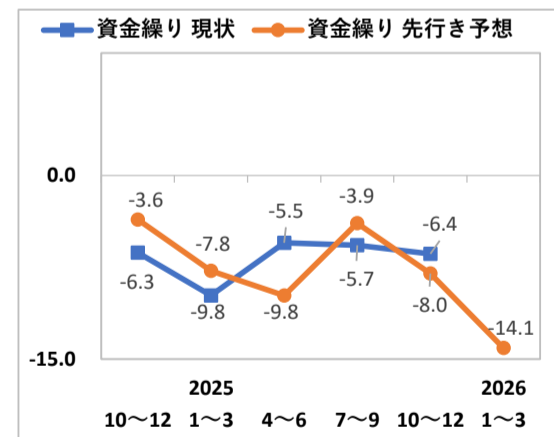


業種	好転	不変	悪化	DI値
製造業	9.1%	81.8%	9.1%	0.0
建設業	0.0%	90.9%	9.1%	-9.1
卸売業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0
小売業	33.3%	44.4%	22.2%	11.1
サービス業	14.3%	59.5%	26.2%	-11.9

・1月～3月の「資金繰り」予想は、昨年同期と比較して  
<全業種>



業種	好転	不変	悪化	DI値
製造業	9.1%	81.8%	9.1%	0.0
建設業	0.0%	81.8%	18.2%	-18.2
卸売業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0
小売業	33.3%	44.4%	22.2%	11.1
サービス業	9.5%	57.1%	33.3%	-23.8



◇DI(前年同期比)が前回調査(7～9月期:▲5.7)より0.7ポイントマイナス幅が拡大して▲6.4となりました。

◇先行き(1～3月期)の予想については、前回調査(10～12月期:▲8.0)より6.1ポイントマイナス幅が拡大して▲14.1となりました。

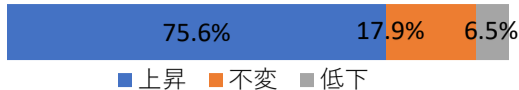
### ○今期は変わらないが、来期は大きく悪化

資金繰りにおいて、今期は前回調査結果とあまり変わりませんが、予想については大きく悪化となりました。要因としては、同じく大雪の影響が考えられます。

## ○「仕入単価」について

・10月～12月の「仕入単価」実績は、昨年同期と比較して

<全業種>

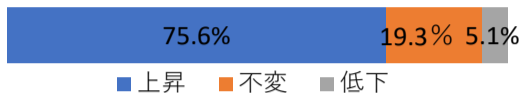


DI値= 69.3

業種	上昇	不変	低下	DI値
製造業	63.6%	36.4%	0.0%	63.6
建設業	90.9%	0.0%	9.1%	81.8
卸売業	100.0%	0.0%	0.0%	100.0
小売業	100.0%	0.0%	0.0%	100.0
サービス業	66.7%	23.8%	9.5%	66.6

・1月～3月の「仕入単価」予想は、昨年同期と比較して

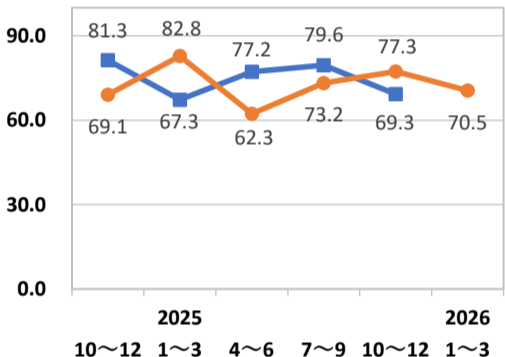
<全業種>



DI値= 70.5

業種	上昇	不変	低下	DI値
製造業	54.5%	45.5%	0.0%	54.5
建設業	90.9%	0.0%	9.1%	81.8
卸売業	100.0%	0.0%	0.0%	100.0
小売業	100.0%	0.0%	0.0%	100.0
サービス業	69.0%	23.8%	7.1%	61.9
全体	75.6%	19.2%	5.1%	70.5

■ 仕入単価 現状 ■ 仕入単価 先行き予想



◇DI (前年同期比) が前回調査 (7~9月期: 79.6) より10.3ポイント減少して69.3となりました。

◇先行き (1~3月期) の予想については、前回調査 (10~12月期: 77.3) より6.8ポイント減少して70.5となりました。

### ○高止まりが続く見通し

仕入単価について、各業種の半数以上が「増加」と回答しました。特に小売業・卸売業では今期・来期ともに「増加」の回答が100%でした。

## ○「製品・商品在庫」について

・10月～12月の「製品・商品在庫」実績は昨年同期と比較して

<全業種>



DI値= -9.0

業種	増加	不変	減少	DI値
製造業	0.0%	81.8%	18.2%	-18.2
建設業	9.1%	81.8%	9.1%	0.0
卸売業	20.0%	60.0%	20.0%	0.0
小売業	22.2%	77.8%	0.0%	22.2
サービス業	4.8%	73.8%	21.4%	-16.7

・1月～3月の「製品・商品在庫」予想は、昨年同期と比較して

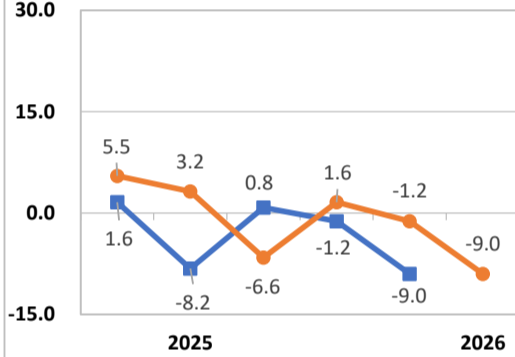
<全業種>



DI値= -9.0

業種	増加	不変	減少	DI値
製造業	9.1%	72.7%	18.2%	-9.1
建設業	9.1%	81.8%	9.1%	0.0
卸売業	20.0%	60.0%	20.0%	0.0
小売業	22.2%	66.7%	11.1%	11.1
サービス業	4.8%	73.8%	21.4%	-16.7
全体	9.0%	73.1%	17.9%	-9.0

■ 在庫 現状 ■ 在庫 先行き予想



◇DI (前年同期比) が前回調査 (7~9月期: ▲1.2) より7.8ポイントマイナス幅が拡大して▲9.0となりました。

◇先行き (1~3月期) の予想については、前回調査 (10~12月期: ▲1.2) より7.8ポイントマイナス幅が拡大して▲9.0となりました。

### ○今期・来期ともに減少

製品・商品在庫において、今期・来期ともに「不変」の回答が多かったですか、DI値では減少傾向となりました。

## ○「従業員数」について

・10月～12月の「従業員数」実績は、昨年同期と比較して

<全業種>



DI値= 1.3

業種	増加	不変	減少	DI値
製造業	30.0%	50.0%	20.0%	10.0
建設業	27.3%	63.6%	9.1%	18.2
卸売業	20.0%	60.0%	20.0%	0.0
小売業	0.0%	88.9%	11.1%	-11.1
サービス業	14.3%	69.0%	16.7%	-2.4

・1月～3月の「従業員数」予想は、昨年同期と比較して

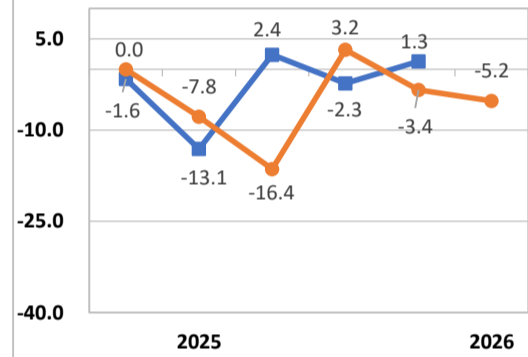
<全業種>



DI値= -5.2

業種	増加	不変	減少	DI値
製造業	20.0%	60.0%	20.0%	0.0
建設業	18.2%	81.8%	0.0%	18.2
卸売業	20.0%	60.0%	20.0%	0.0
小売業	0.0%	88.9%	11.1%	-11.1
サービス業	4.8%	78.6%	16.7%	-11.9
全体	9.1%	76.6%	14.3%	-5.2

■ 従業員 現状 ■ 従業員 先行き予想



◇DI (前年同期比) が前回調査 (7~9月期: ▲2.3) より3.6ポイント回復して1.3となりました。

◇先行き (1~3月期) の予想については、前回調査 (10~12月期: ▲3.4) より1.8ポイントマイナス幅が拡大して▲5.2となりました。

### ○「不変」が多いが、今期は若干の回復

従業員数について、今期・来期ともに「不変」の回答が多い結果となりました。また、今期のDI値は若干の回復、来期はやや減少予想となりました。

## ○「自社景況」について

・10月～12月の業況 (貴社) 実績は昨年同期と比較して

<全業種>

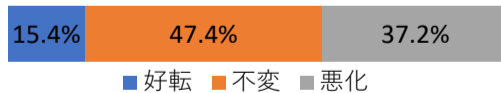


DI値= -19.3

業種	好転	不変	悪化	DI値
製造業	9.1%	63.6%	27.3%	-18.2
建設業	0.0%	54.5%	45.5%	-45.5
卸売業	0.0%	40.0%	60.0%	-60.0
小売業	44.4%	33.3%	22.2%	22.2
サービス業	19.0%	45.2%	35.7%	-16.7

・1月～3月の業況 (貴社) 予想は昨年同期と比較して

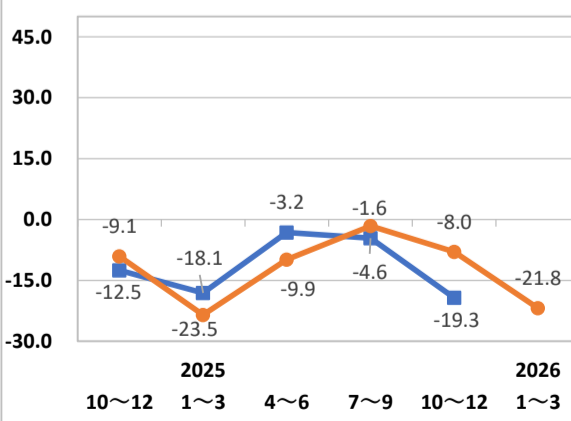
<全業種>



DI値= -21.8

業種	好転	不変	悪化	DI値
製造業	18.2%	45.5%	36.4%	-18.2
建設業	0.0%	63.6%	36.4%	-36.4
卸売業	0.0%	80.0%	20.0%	-20.0
小売業	44.4%	33.3%	22.2%	22.2
サービス業	14.3%	42.9%	42.9%	-28.6

■ 自社景況 現状 ■ 自社景況 先行き予想



◇DI (前年同期比) が前回調査 (7~9月期: ▲4.6) より14.7ポイントマイナス幅が拡大して▲19.3となりました。

◇先行き (1~3月期) の予想については、前回調査 (10~12月期: ▲8.0) より21.0ポイントマイナス幅が拡大して▲21.8となりました。

### ○今期・来期ともに大きく悪化

自社景況について、今期・来期ともに大きく悪化の結果となりました。しかし小売業は売上、利益等全体的に好調の様子です。

○「業界景況」について

・10月～12月の「業界景況」実績は、昨年同期と比較して

<全業種>



DI値 = -37.2

業種	好転	不変	悪化	DI値
製造業	0.0%	54.5%	45.5%	-45.5
建設業	0.0%	36.4%	63.6%	-63.6
卸売業	0.0%	60.0%	40.0%	-40.0
小売業	0.0%	77.8%	22.2%	-22.2
サービス業	9.5%	50.0%	40.5%	-31.0

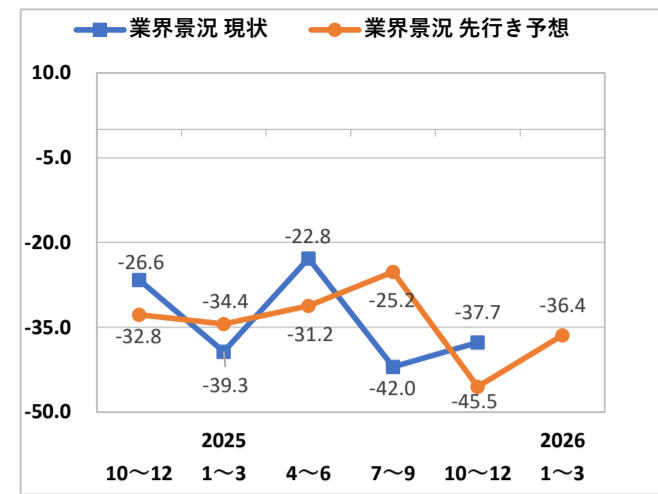
・1月～3月の「業界景況」予想は、昨年同期と比較して

<全業種>



DI値 = -35.9

業種	好転	不変	悪化	DI値
製造業	0.0%	54.5%	45.5%	-45.5
建設業	9.1%	36.4%	54.5%	-45.5
卸売業	0.0%	60.0%	40.0%	-40.0
小売業	11.1%	66.7%	22.2%	-11.1
サービス業	9.5%	45.2%	45.2%	-35.7



◇DI (前年同期比) が前回調査 (7～9月期: ▲42.0) より4.3ポイント回復して▲37.7となりました。

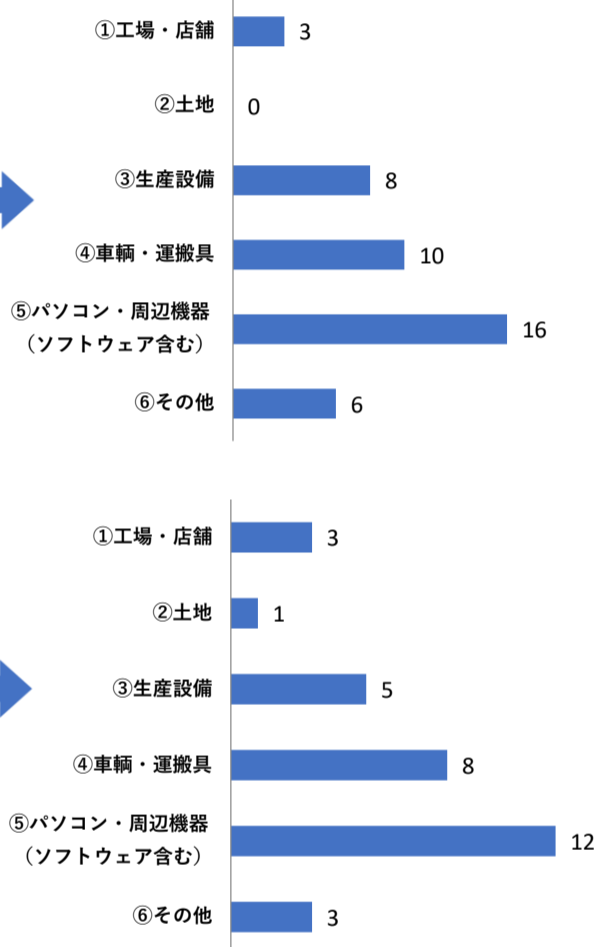
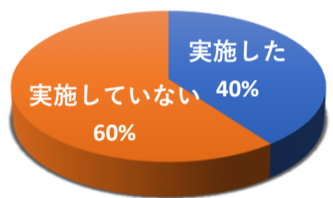
◇先行き (10～12月期) の予想については、前回調査 (10～12月期: ▲45.5) より9.1ポイント回復して▲36.4となりました。

○大きく回復するものの、未だ悪化の状況

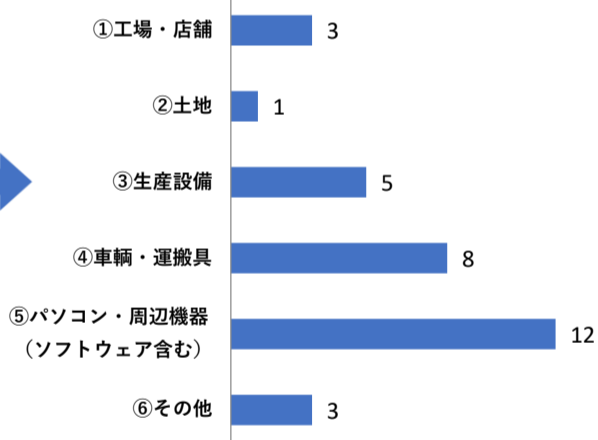
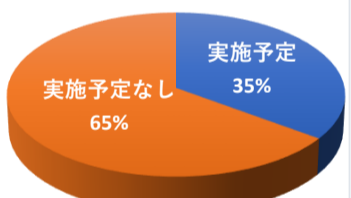
業界景況について、今期・来期ともに大きく前回調査から回復するものの、「悪化」の回答が「好転」を大きく上回る状況が続いています。

○設備投資の実施状況及びその内容について ※複数回答

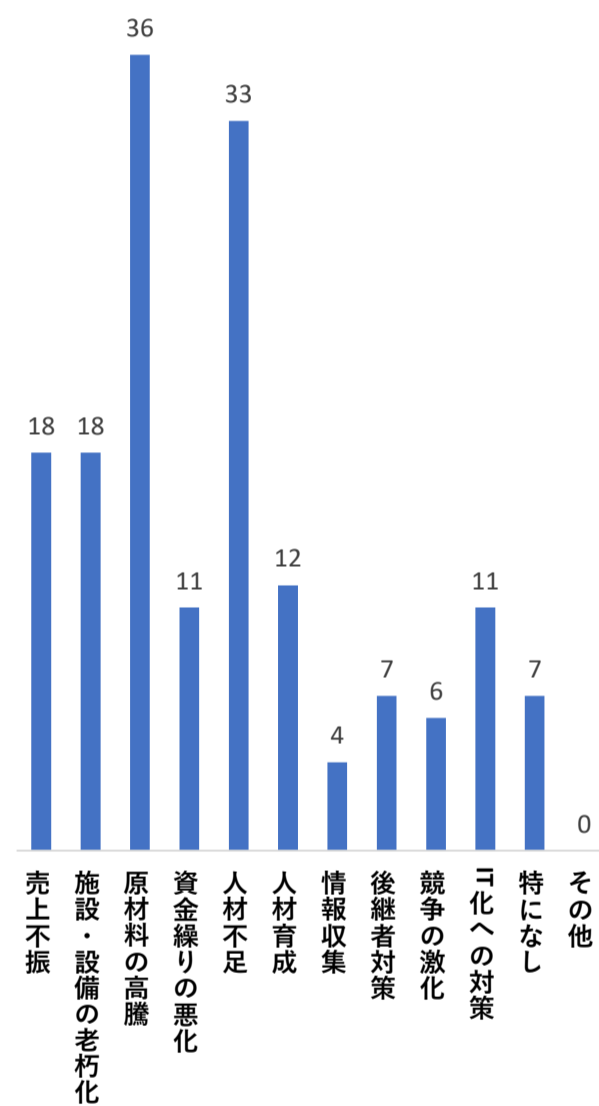
・10月～12月の設備投資について



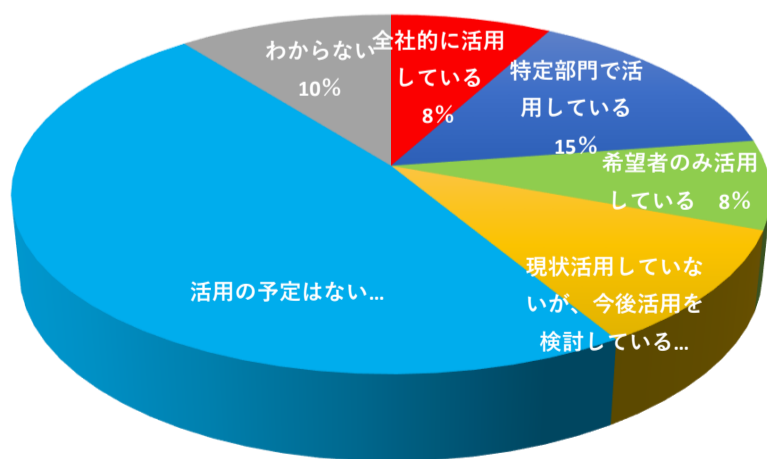
・1月～3月の設備投資の見通しについて



○経営上の課題について (業種別) ※複数回答



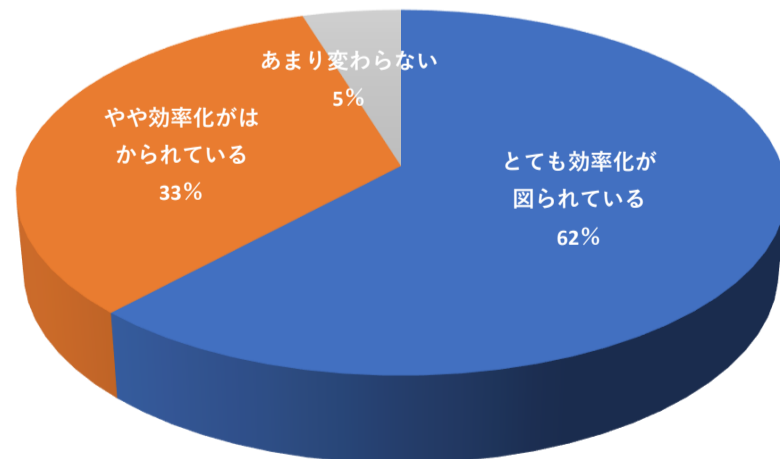
○生成AIの活用状況について



○約3割が生成AIを活用

生成AIの活用状況について、「全社的に活用している」が8%、「特定部門で活用している」が15%、「希望者のみ活用している」が8%、計31%が生成AIを活用している結果となりました。また、「現状活用していないが、今後活用を検討している」の回答が11%となりました。

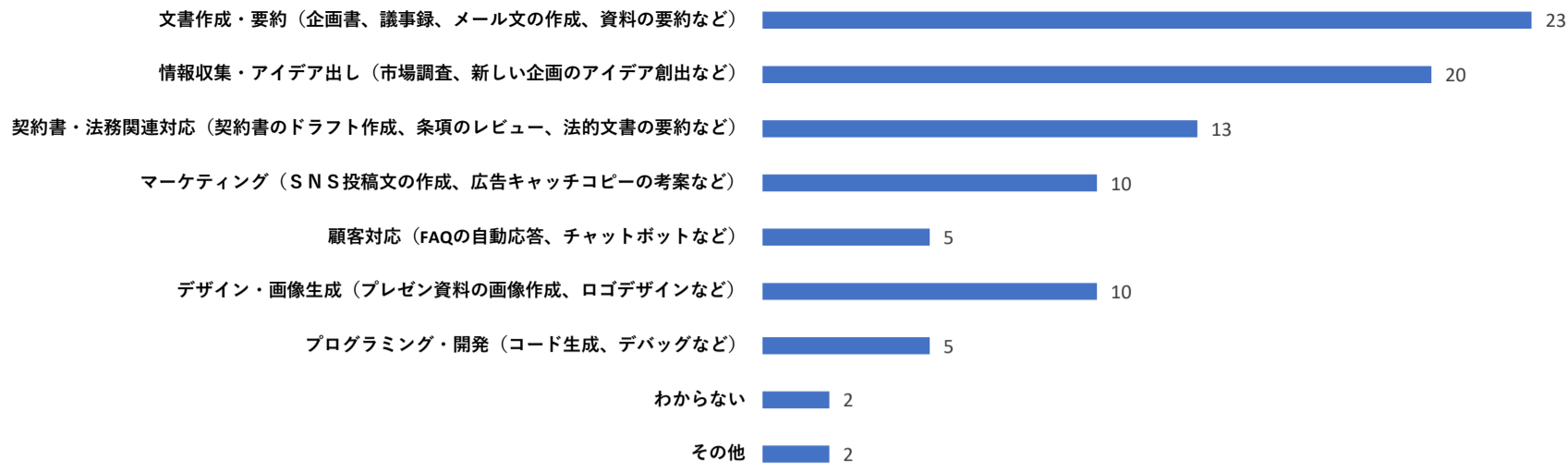
○生成AI活用による効率化について



○ほとんどの企業で効率化が図られる

生成AI活用による効率化について、「とても効率化が図られている」が62%、「やや効率化が図られている」が33%という結果となり、ほとんどの企業で効率化が図られていることがわかりました。

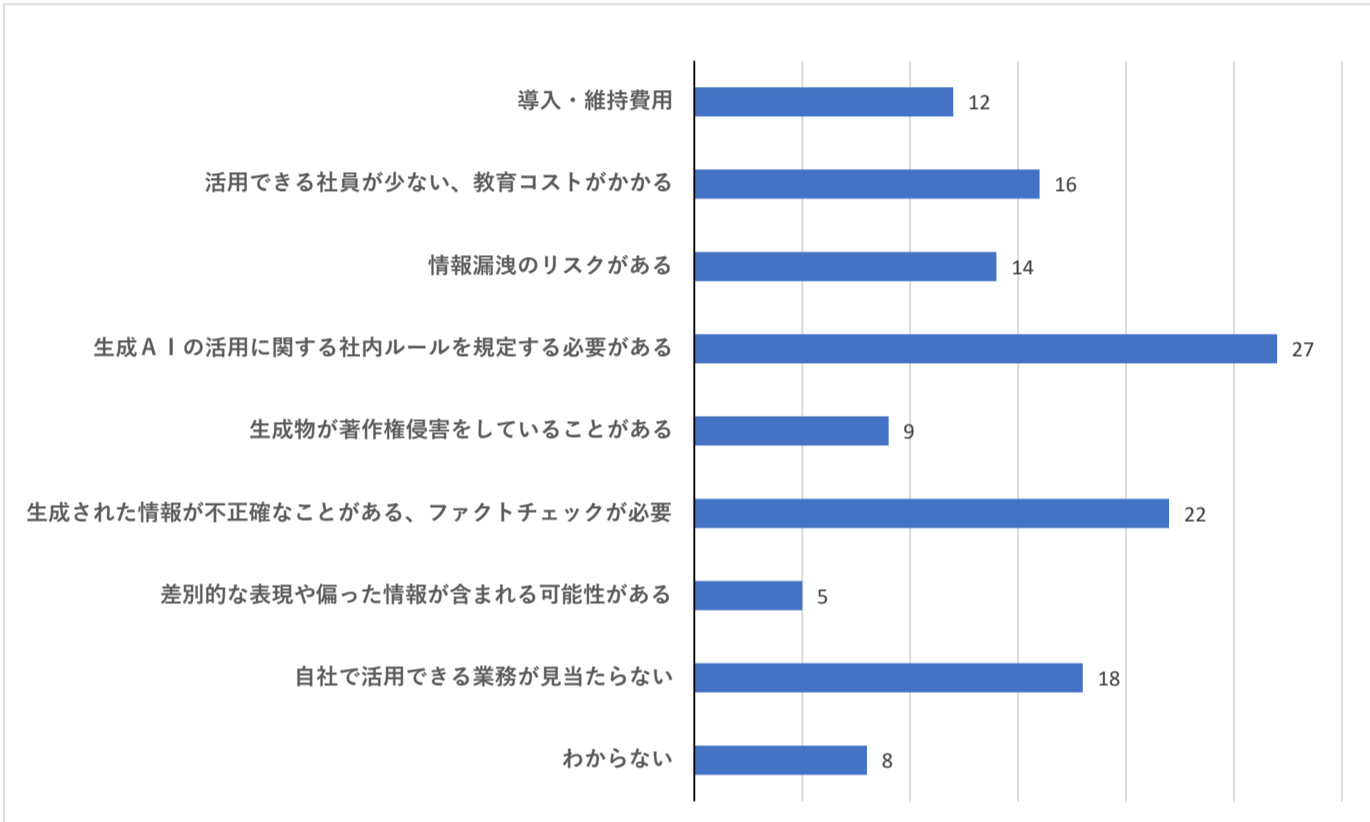
○生成AIの活用事例について



○「文書作成・要約」が最多の回答

生成AIの活用事例について、「文書作成・要約」が最多の23件、次いで「情報収集・アイデア出し」が20件となりました。他にも「契約書・法務関連対応」、「マーケティング」、「デザイン・画像生成」の回答も多い結果となりました。その他の回答としては「財務・事務資料等整理、ルーチンタスクの簡易化」、「社内の業務効率化システム」という回答もありました。

○生成AI活用の課題について



○就業調整による人手不足の対応策について

生成AI活用の課題について、「生成AIの活用に関する社内ルールを規定する櫃夜がある」が最多の回答、次いで「生成された情報が不正確なところがある、ファクトチェックが必要」が多い回答となりました。

AIに入力したデータがモデルの学習に利用され、他者の回答として流出するリスクを防ぐ必要があります。

- ・機密情報の入力禁止
  - ・「学習させない」設定
  - ・会社が許可していない個人アカウントや、未承認のAIツールを勝手な使用を禁止
- 以上3点が生成AI使用の注意点として考えられます。また、ファクトチェックとして、人間による最終確認が重要です。

○経営上の問題について (企業の生の声)

カテゴリー	企業の生の声 (一部抜粋)	業種
人材関係	平均年齢が高いので、今後を見据えて若い社員を育てていきたいが、募集をしても希望者が少ない。	建設業
	担い手の確保	建設業
	人手不足	サービス業
	人が定着せずに常に不足気味で取れる予約が取れず売上を伸ばせない	サービス業
物価高騰関係	仕入副資材の高騰 (銅線、半田等)	製造業
	人件費高騰による資金繰りが、心配	小売業
	物価高騰により販売価格を上げて売り上げも上がっているが、利益が伴わず、資金や設備に当てることができない状態がある。	小売業
	全ての仕入れ、光熱費が値上がり、客離れが怖く売値を多少上げても以前に比べて利益が出ない	小売業
	まだ決定はしていないが、4月とか商品単価の値上げを考えています。	サービス業
	米価格の高騰で利益がとれない	サービス業
	毎年、人件費の高騰と物価高に見積り金額をあげられない現状あります。	サービス業
その他	人手不足、原材料の高騰	小売業
	生産性	小売業
	売上の現状維持は出来ているが客数が大きく減少している	小売業
	ヘッドホンアンプを販売していただける代理店などを探しています。	小売業
	雪が降るとお客様がこないこと	サービス業
	収支バランスの悪化 (薄利)	サービス業
	加齢による対応能力低下	サービス業
現預金残高の不安	サービス業	